

やまだ  
山田 不二子 MD, PhD プロフィール

**現 職：** 医療法人社団三彦会 山田内科胃腸科クリニック 副院長  
認定特定非営利活動法人チャイルドファーストジャパン(CFJ) 理事長  
国際子ども虐待防止学会(ISPCAN) 理事  
一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN) 理事  
一般社団法人日本子ども虐待医学会(JaMSCAN) 副理事長  
国立大学法人東京科学大学 医学部 非常勤講師  
昭和大学 助産学専攻科 兼任講師  
東邦大学 医学部 特任講師

**略 歴**

1979年：神奈川県立湘南高等学校卒業  
1986年：東京医科歯科大学医学部卒業、医師免許取得、同第一内科入局  
1987年：青梅市立総合病院内科勤務(2年間)  
1990年：夫と共に山田内科胃腸科クリニック(現 医療法人社団三彦会 山田内科胃腸科クリニック)を開業し、副院長に就任  
1997年：ヒューマン&ファミリー・サポート・ネットワーク(HFSN)を設立し、リーダーに就任(2003年3月退任)  
1998年：子ども虐待・ネグレクト防止ネットワーク(CMPN)を設立し、事務局長に就任  
2000年：4月、東京医科歯科大学大学院博士課程入学  
2001年：CMPNの法人化に伴い、理事長に就任  
2003年：かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会(KaPSANC)を設立  
2005年：KaPSANCの法人化に伴い、副理事長に就任(2018年7月に法人が解散するまで)  
2006年：社団法人日本小児科学会子どもの虐待問題プロジェクトチーム 委員に就任(2012年3月まで)  
2007年：特定非営利活動法人日本子どもの虐待防止民間ネットワーク(JCAPCNet) 常務理事に就任(2016年まで)  
東京都児童相談所協力医師として着任  
2008年：日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN) 国際活動委員会委員に就任  
2009年：日本子ども虐待医学研究会(JaMSCAN)の設立に関わり、理事 兼 事務局長に就任  
千葉県児童虐待対応協力医師  
2010年：1月16日、CMPNは国税庁により認定NPO法人に認定  
神奈川県虐待相談医療サポート医師、横浜市児童相談所相談医  
日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN) 評議員(現代議員)に就任  
3月31日、東京医科歯科大学大学院博士課程退学  
2011年：4月、三重大学大学院博士課程入学  
2013年：12月13日、日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN) 理事に就任  
2014年：7月13日、日本子ども虐待医学研究会が日本子ども虐待医学会に移行  
2015年：2月7日、CMPNが『子どもの権利擁護センターかながわ(CAC かながわ)』を開所  
2015年：3月25日、三重大学大学院より博士(医学)の学位を授与(SBS/AHT研究)  
2015年：7月、社会保障審議会 児童部会 児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会 委員(8月まで)  
2015年：9月、認定NPO法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク(CMPN)を認定NPO法人チャイルドファーストジャパン(CFJ)に改称  
2015年：9月、社会保障審議会 児童部会 新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会 委員(2016年3月まで)  
2016年：7月、児童虐待対応における司法関与及び特別養子縁組制度の利用促進の在り方に関する検討会 構成員(2017年3月まで)  
2016年：7月、子ども家庭福祉人材の専門性確保ワーキンググループ 構成員(2018年3月まで)  
2017年：10月、脳死下での臓器提供事例に係る検証会議 委員に就任  
2018年：4月、東京医科歯科大学 医学部 非常勤講師に着任  
兵庫県こども家庭センター児童虐待等対応専門アドバイザー  
2018年：9月、国際子ども虐待防止学会(ISPCAN) 理事に就任  
2019年：4月、厚生労働科学研究班 研究代表者として、司法面接・系統的全身診察およびSBS/AHTに関する研究(3か年の予定)に従事  
2020年：11月、ISPCAN Training and Education Committee Chair(研修・教育委員長)に就任(2022年12月まで)  
2023年：4月、昭和大学 助産学専攻科 兼任講師に着任  
2023年：6月、日本子ども虐待医学研究会(JaMSCAN) 事務局長を退任し、副理事長に就任  
2023年：10月、東邦大学 医学部 特任講師に着任  
2024年：4月、CFJが『CAC かながわ』に『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』を併設

## 研 修

- 2006年：8月7日～18日、アメリカ合衆国オレゴン州ポートランドにある Child Abuse Response and Evaluation Service Northwest (CARES NW)にて性虐待被害児の医学的診察に関する臨床研修を受講し、修了証を取得。
- 2008年：11月11日～13日、社会福祉法人子どもの虐待防止センター主催の「司法面接訓練」に参加して、CornerHouse Interagency Child Abuse Evaluation and Training Center(アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス)より「RATAC<sup>®</sup>司法面接訓練受講修了証」を取得。
- 2010年：3月6日～8月11日、米国の National Child Protection Training Center (NCPTC)と CornerHouse Interagency Child Abuse Evaluation and Training Center (CornerHouse)との協働事業である ChildFirst<sup>™</sup>を日本に導入し、多機関連携チームで司法面接を実施する体制の構築を目的とした ChildFirst Japan 事業を実施。その中で、CornerHouse が開発した司法面接プロトコル RATAC<sup>®</sup>を日本語で研修できる日本人ファカルティー(ChildFirst Japan 子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー)を養成した。この事業を通し、自らもそのファカルティーの一員となった。
- 2011年：9月1日～6日、虐待の第一発見者が虐待を受けたと疑われる子どもから通告に必要な情報をどうやって聴き取るべきか、その手順を CornerHouse は RIFCR<sup>™</sup>というプロトコルにまとめている。これを日本に普及させるため、CornerHouse からトレーナーを招聘して、ChildFirst Japan ファカルティーの中に CornerHouse 認定 RIFCR<sup>™</sup>トレーナーを養成し、自らもその一員となった。
- 2014年：11月、CornerHouse が開発した RATAC<sup>®</sup>を基にして、Gundersen NCPTC が身体的虐待やネグレクト、DV 目撃等に適用できるように改変した ChildFirst<sup>™</sup>司法面接プロトコルの研修を ChildFirst Japan が開始。
- 2016年：ChildFirst<sup>™</sup>司法面接プロトコルが Gundersen NCPTC の申請によって ChildFirst<sup>®</sup>司法面接プロトコルとして商標登録されたため、ChildFirst Japan も ChildFirst<sup>®</sup>司法面接プロトコルの研修を開始するとともに、『子どもの権利擁護センターかながわ(CAC かながわ)』は同プロトコルを用いた司法面接を開始。